

## 【22\_110思考系メルマガ】ポジポジ病の原因と対策

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

イースター休暇明けの朝から、早速『型』に沿って朝活エントリーを実施しました。

▼EURAUD(S) 結果: +20pips▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1516209345549467648?s=20&t=wc5Zw2sFLr5vP14uTQcf5g>

M15/全MA下抜けの1波確認と、M5/MA収縮に対して下抜けの根拠を複合  
⇒プルバックG2辺りが半値戻しのいい所(損切は1波起点で型通りに -10p)

損切りの設定もいつも通り出来るいい所だけど  
リワードがギリギリなので、やるかどうかは好み次第かなという感じ

きっちりリワード2を頂いて、ロンドン時間はスルーでした。

さて今日は、久しぶりに編集動画としてアップした『ポジポジ病』について

その発生原因と対策を文章の方でも深掘りしてみようと思います。

▼YouTube動画▼

<https://youtu.be/mUIhNiTc52s>

□

└─ ■ ポジポジ病は 何故起こるのか？どう対処すべきなのか？

映像の中でも、ポジポジ病が起こる原因について、主に3つの例を挙げて

その発生原因を言語化しましたが、つまるところこの根本原因は自分の中にある『不安』である

というのを、結論としてまとめました。

この点は、まとめてしまうと本当にそれ以上でもそれ以下でもないわけですが

この『不安』にどう対処すればよいのか？を考え、行動に移すことにこそ

その困難さがあると言えます。そうではないのなら、多くのトレーダーがここで躓くこともないでしょうから。

これは、去年くらいに書いていたメルマガの内容と一部重複するところがある

(覚えている人、いるかな？笑)のですが

『不安』という感情は、人が本能的に感じる「未知のものに対する恐怖心」から生み出されていると言われています。

子供のころ、おばあちゃん家の暗い廊下を歩いてトイレに行くのが何となく怖かったりするもの

「(見たことはないけど)お化けがでてくるかもしれない」という“何となくの不安”によって引き起こされています。

どうでもいいですが、僕も小さいころかなりビビりで、親戚一同集まったおばあちゃんちでびくびくしながら独りトイレに行くとき

従姉に廊下の隅から「わあ！！！」と驚かされて盛大にチビりました。

・・・はい、話戻しますね。

この『不安』をトレードに置き換えて考えると、【先の値動きが分からない】という事に対して

『だからこそ、“型”に沿ってトレードしよう』と行動を制御出来るか

一方で「不安を抱えたまま、視点の定まらない手法に振り回されてトレードする」のとは

その後の結果が雲泥の差となるのは想像に難くないでしょう。

ですから、これも結局同じ事の繰り返しに行きつきますが、どこまで行ってもトレードは

自分の『型』の輪郭を明確にし、その一貫性を持って不確実な相場と向き合う作業であること。

そして、その『型』の精度(勝率、利回り、継続性)を高める『技術』を常に磨き続けることで初めて

「不安」という要素を極限まで小さくし、安定したトレードを行えるようになります。

こう考えると、ただでさえ自分の行動に『一貫性』を持たせるためにも、決めた『型』に対する信頼度を深めていくための『技術』を深掘りすることが非常に重要なのに  
ちょっとやってダメなら次の手法、またダメなら次の・・・などとやっていては何故ダメか？  
というのも分かってきますよね(笑)

結局、「トレードの手法」というのは勝てる確率がテキトーにやるよりはちょっとマシになる方法程度のものでしかなく

『勝ち方』と『利益の守り方』をセットにして『型』としなければならない。

それをしない限り、ずっと同じようなところで堂々巡りを繰り返し

付きまとう不安も永遠に解消しません。

もしこのメールを読んでちょっとでも思い当たる節がある人は、今からでも「不安を消してくれる魔法の手法」を追い求めるのはやめて

『型を作る』ための考え方を自分なりにどうまとめていくかに、思いを巡らせてみてください。

考え方に行き詰ったときは、可能な範囲で相談に乗りたいと思うので、メールしてくださいね。